



四国地方、梅雨入りに想う

5月15日(土)、四国地方に梅雨入りが発表されました。まさか、この時期に?と思われるくらいの発表でした。平年よりも3週間はやく、観測史上最も早い梅雨入りだそうです。



梅雨といえばアジサイの花が定番ですが、今年はまだ作業所の行き帰りにアジサイの花を見かけたことはありません。周りの景色と天候が伴い、季節感を実感するものですが、今年の梅雨入りの発表は、あまりに唐突でいささか膾炙かしを食った感じですか。



古来、日本人は繊細な国民性として知られています。四季が織りなす。季節ごとの景色の移り変わりやその色彩の変化、それに伴う感性等国土が日本人を育ててきました。「風情」という言葉もそんな日本の風土の中で生まれた言葉です。

風情とは、日本古来の美意識の1つで、四季が織りなすそれぞれの季節の持つ「はかなさ」や「空虚さ」の中にある美しさや趣きや情緒を見つけ、それらを心で感ずることだそうです。簡単に言えば、趣や味わい、様子やありさまのことです。

アジサイが咲かない梅雨。風情は感じられるでしょうか?そんなこと言ったら、「咲かないものは咲かないよ! 頭が昭和だね!」と今どきの若者に揶揄されそうです。これも異常気象のなせる業でしょうか。いやいや、日本人の感性が少しずつ壊れていきそうです。

どうなる?新型コロナウイルス



毎日、マスコミで報道されない日はないくらい新型コロナウイルス関連ニュースが飛び交っています。愛媛県内はここ1週間の感染者数は20人を切り減少の傾向にありますが、変異株のイギリス型やインド型の増加が目立ってきているそうです。宇和島市内では15日(土)3人、16日(日)1人と感染者が出ています。市内でも高齢者を中心にワクチン接種が行われますが、これまで以上に注意を払うことが大切です。用事もないのにスーパーや商店に行かない等の密集を避ける、室内では適度の喚起を行う、適度に距離をとり会話する等の三密の徹底やマスクの着用、手洗いの徹底等をお願いします。

はまゆうホーム、満杯

昨年4月に開所しました「はまゆうホーム」ですが、1年たってやっと5月に全室入居者(7名)が決まりました。入居者はすべてはまゆう共同作業所に通っている利用者の皆さんです。当初は1階女性、2階男性と計画をしていたのですが、女性の希望者がなく男性のみとなりました。

今まで以上に充実した運営を目指して、がんばっていききたいと思います。

